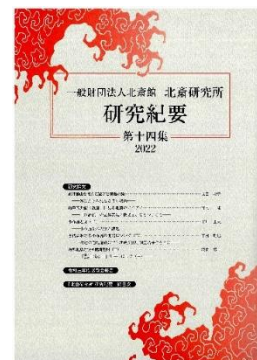


【北斎館からのご案内】

北斎研究所 研究紀要第 14 集を発売しました

北斎研究の拠点として北斎館が行ってきた様々な研究結果を本にしました。葛飾北斎、高井鴻山などの文化面を中心に、小布施町の歴史や産業も含めた内容になっています。北斎研究の新たな研究内容をご覧ください。



価格：1,000 円（税込）

販売場所：北斎館ミュージアムショップ、同ネットショップ

北斎研究所 第14回研究発表会を行います

北斎館では、北斎研究所研究員による 1 年間の研究成果をまとめた発表会を以下のとおり開催します。大勢の皆様のご来館をお待ちしています。

会 場 北斎館 映像ホール

聴講料 無料（発表会とともに展示も一緒にご覧いただけます。）

- ◎ お席は予約不要・先着順で、30人程度とさせていただきます。
- ◎ ご入館は検温とマスクの着用をお願いします。また熱や咳などの症状がある方はご遠慮ください。
- ◎ 会場では発表内容をまとめた『北斎研究所研究紀要第 14 集』（1,000 円）ご購入できます。

日 時	発 表 者	発 表 内 容
7月9日（土） 午後 1 時 30 分	竹内 隆 北斎研究所主任研究員	肉筆天井絵「浪図」に見る北斎のアイデア —「水滸伝」の立体表現と陰陽図、羽もつ子ども— 新たな陰陽一体図の確認と浪図の顔料について報告します。
7月9日（土） 午後 2 時 20 分	浅岡 修一 日本近世文学会会員	葛飾北斎と便々館湖鯉鮒（三） —「画本狂歌山満多山」を中心にして（中）— 「山満多山」中冊掲載の狂歌と景勝地について紹介します。
7月9日（土） 午後 3 時 10 分	市村 勝巳 小布施町公民館長	古代における小布施の開発について（二） —最近の宅地造成に伴う埋蔵文化財調査結果をもとに— 最近の埋蔵文化財の資料から町内の開発状況を考察します。
7月23日（土） 午後 1 時 30 分	市川 正夫 信州大学講師	小布施と栗（二） —小布施栗の現状と課題— 小布施の栗栽培や栗菓子の今昔から現状と課題をまとめます。
7月23日（土） 午後 2 時 20 分	金田 功子 高井鴻山研究者	高井鴻山を育んだ遊学と浪遊の旅 —漢詩から見た若き日の鴻山— 漢詩の内容から鴻山の壮年期までの素顔を明らかにします。

お問い合わせ：一般財団法人 北斎館 〒381-0201 小布施町大字小布施 485

TEL: 026-247-5206 FAX: 026-247-6188 E-mail: info@hokusai-kan.com